

AGER 2018

アムウェイ・グローバル
起業家精神調査レポート
起業家精神を牽引するもの

Amway

調査対象国44カ国

アジア: 中国、インド、日本、韓国、マレーシア、台湾、タイ、ベトナム

欧州: オーストリア、ベルギー、ブルガリア、クロアチア、チェコ共和国、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、イギリス、ギリシャ、ハンガリー、アイルランド、イタリア、ラトビア、リトアニア、オランダ、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スロバキア、スロベニア、スペイン、スウェーデン

中南米: ブラジル、コロンビア、メキシコ

北米: カナダ、アメリカ

ノルウェー、ロシア、南アフリカ、スイス、トルコ、ウクライナについては、地理的もしくは政治的理由で上記地域別カテゴリで言及することができないため、世界の平均値として算出する。



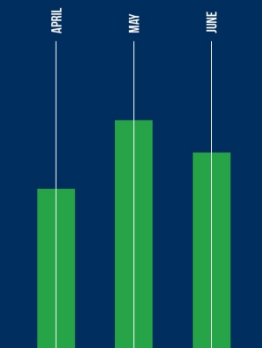
第8版

14～99歳の男女

48,998人



調査対象者



実地調査



電話調査



対面調査

調査方法



GfK (ニュルンベルク
ドイツ)

調査機関

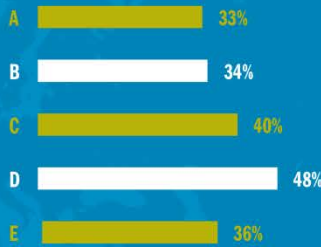
質問

世界平均

質問1 PG.05

以下は、起業に関する質問です。起業とは、事業を開始し、顧客へ製品またはサービスを提供することを意味します。自分の国は以下のどれに合致しますか？

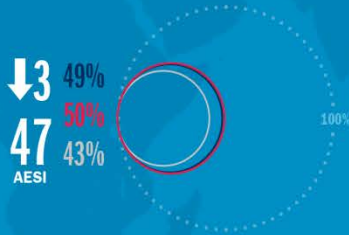
- A. ... 自国での税金は処理しやすい
- B. ... 自国で定められた規則・規制は理解しやすく従いやすい
- C. ... 自国では教育システムによって必要なスキルを教えている
- D. ... 自国には起業を容易にするテクノロジーがある
- E. ... 自国の経済状況は良好である



質問2 PG.06

自分自身について考えた時、以下のどれに合致しますか？

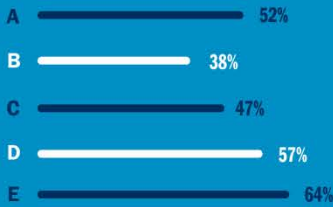
- 願望: 自分のキャリア形成にとって望ましい機会になる
- 安定性: 家族や友人により、起業を思いとどまることはない
- 実行可能性: 自分には起業に必要なスキルやリソースがある



質問3 PG.07

事業をスタートした時に、自分自身は以下のどれに合致しますか？

- A. 事業のアイデアを創出できる
- B. 事業のアイデアを実現するための資金調達方法を知っている
- C. 事業失敗のリスクをいとわない
- D. 事業のアイデア実現のために自分の自由な時間を犠牲にできる
- E. 家族も友人たちも支援してくれると思う

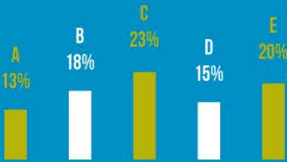


質問4 PG.08

自分自身について考えた時、事業を開始するにあたって最も役立つことは何ですか？

支援について

- A. ... 事業のアイデアを模索する
- B. ... 顧客を特定し、製品とサービスのマーケティングを行う
- C. ... 事業のアイデア実現のための資金調達
- D. ... 適切な人材を雇う
- E. ... 財務、税、規制への対応



質問5 PG.09

もし事業をスタートした場合、どのような事業に取り組めますか？以下で2つのうち、どちらが自分自身に合致しますか？

- 社会性重視 — 利益重視
- 自分1人での事業 — 人材を雇用しての事業
- 都市部での事業 — 郊外での事業
- 顧客への個人的サービス提供 — 顧客へのデジタルでのサービス提供
- 製品 — サービス



「人々は起業家精神にあふれた未来を望んでいる」

起業家精神が世界中で生きていることは明かです。私たちは過去数年間のアムウェイ・グローバル起業家精神調査レポート(AGER)を通して、世界中で調査された人々の多くが自らの事業所有にオープンであるということがわかりました。しかし、それを動機づけるものや、外部の環境要因や内部要因が果たす役割については、さらなる検討が必要です。そこで、私たちはAGER 2018のテーマを、「起業家精神を牽引するもの」としました。

私たちは44カ国、約5万人の回答者に、事業の所有概念だけでなく、自国のインフラ、開始予定の事業タイプ、開始から経営にあたっての自らの能力評価方法、事業者が最も求めている支援範囲に関する姿勢や認識について質問しました。

その結果、起業家にとって幸先の良い、興味深い洞察および機会が浮き彫りになりました。35歳未満の人々は、全体的に、起業に対して最もポジティブです。自らの事業の立ち上げによるリスクを嫌う女性を支援するための、絶好の機会は残されたままです。世界がいかにデジタル化されようとも、回答者の多くは、デジタルではない個人的な顧客サービスの提供を好みます。

事業を所有するかどうかを決める根拠をより深く理解することは、起業家の世界を効果的に育成していく上で役立ちます。このような情報は、ビジネス界と政府の指導者が意思決定を行い、より多くの人々が自分の事業を立ち上げ、この分野における最大の可能性を発揮できるようアクションを起こすために役立ちます。より多くの起業家の存在は、より多くの機会や経済的成長、そしてすべての人にとってのより大きな繁栄を意味します。



Dag DeVos

社長
ダグ・デヴォス

Stéphane Vanandel

会長
スティーブ・ヴァンアンデル

外部要因： ビジネス環境

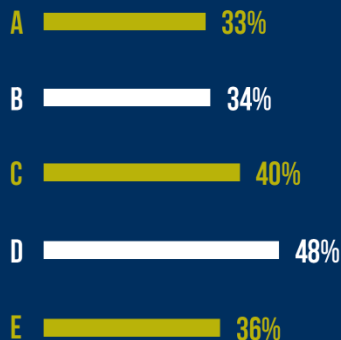
質問1

以下は、起業に関する質問です。起業とは、事業を開始し、顧客への製品またはサービスを提供することを意味します。自分の国は以下のどれに合致しますか？

事業を開始・経営するにあたり、

- A. ... 自国での税金は処理しやすい
- B. ... 自国で定められた規則・規制は理解しやすく
従いやすい
- C. ... 自国では教育システムによって必要なスキル
を教えている
- D. ... 自国には起業を容易にするテクノロジーがある
- E. ... 自国の経済状況は良好である

世界平均



地域別平均

北米

A. 58%
B. 51%
C. 52%
D. 78%
E. 62%

中南米

A. 20%
B. 33%
C. 30%
D. 49%
E. 20%

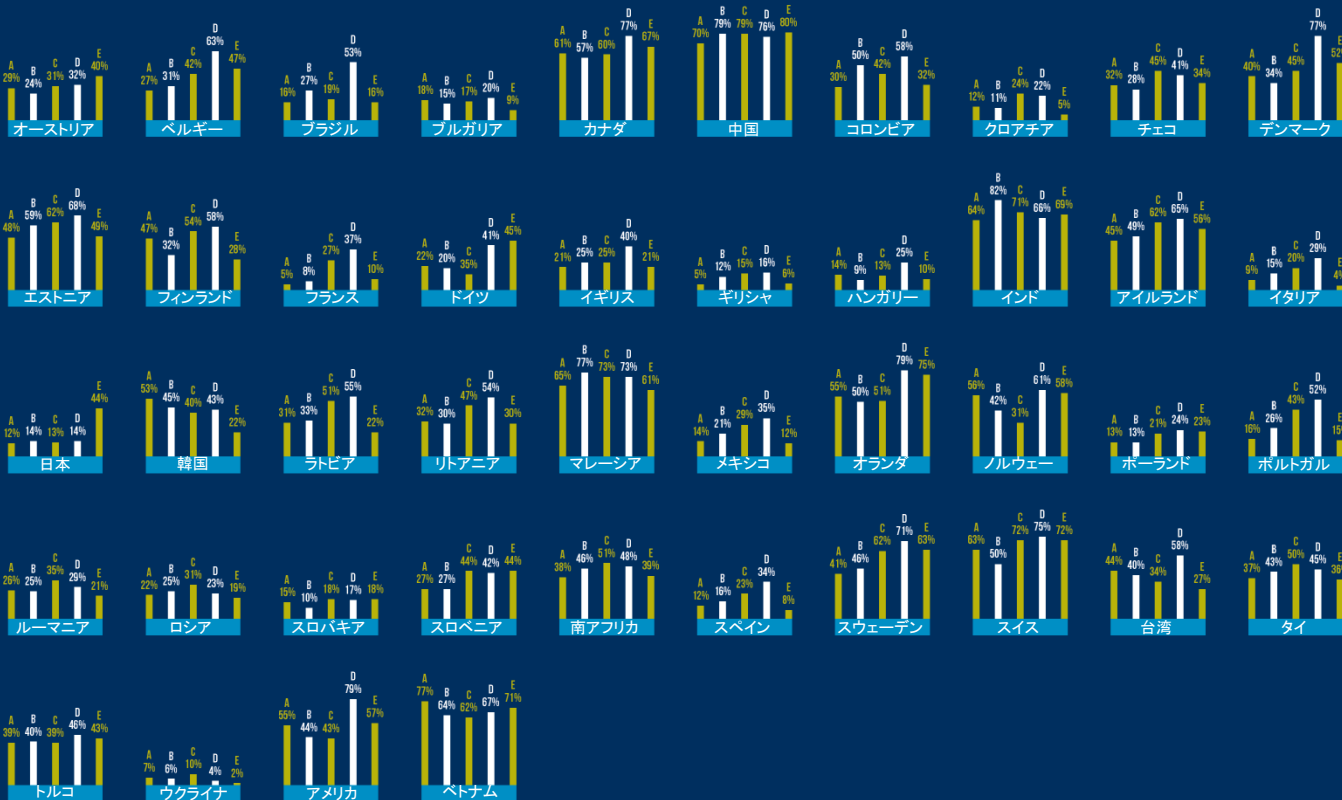
欧州

A. 26%
B. 26%
C. 36%
D. 44%
E. 29%

アジア

A. 53%
B. 56%
C. 53%
D. 55%
E. 51%

国別平均



アムウェイ 起業家精神指標 (AESI)

質問2

自分自身について考えた時、以下のどれに合致しますか？

- 願望：起業は、自分のキャリア形成にとって望ましい機会になる
- 安定性：家族や友人により、起業を思いとどまることはない
- 実行可能性：自分には起業に必要なスキルやリソースがある

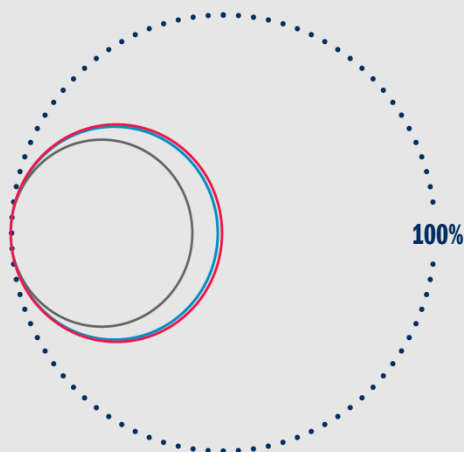
↑↓ 矢印は、2016年と比較したAESIの変化を表示

AESIには、「願望」、「実行可能性」、および「安定性」という3つの均等加重された側面が含まれている。下記では指標値の高い国から順に並べているが、小数点以下はデータに示されていない。

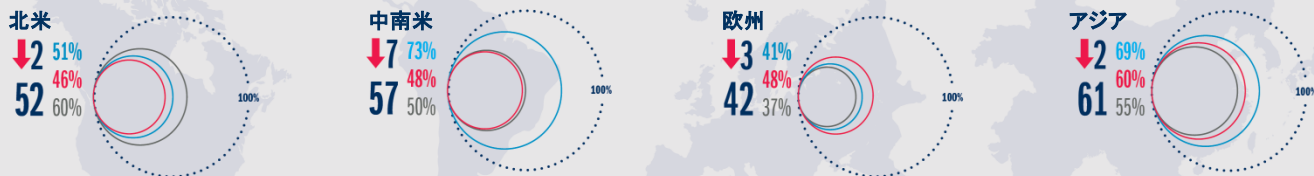
世界平均

↓3
47
AESI

49%
願望
50%
安定
43%
実行可能性



地域別平均



国別平均



重要所見：アムウェイ起業家精神指標 (AESI) の測定3回目において差異が示されると同時に、起業家の願望、自分の能力に対する自信、調査対象国における回答者の社会的安定性の認識を比較することができる。44カ国全体での平均指標値は47で、2016年よりわずかに低い結果となった。

内部要因： 自己評価

質問3

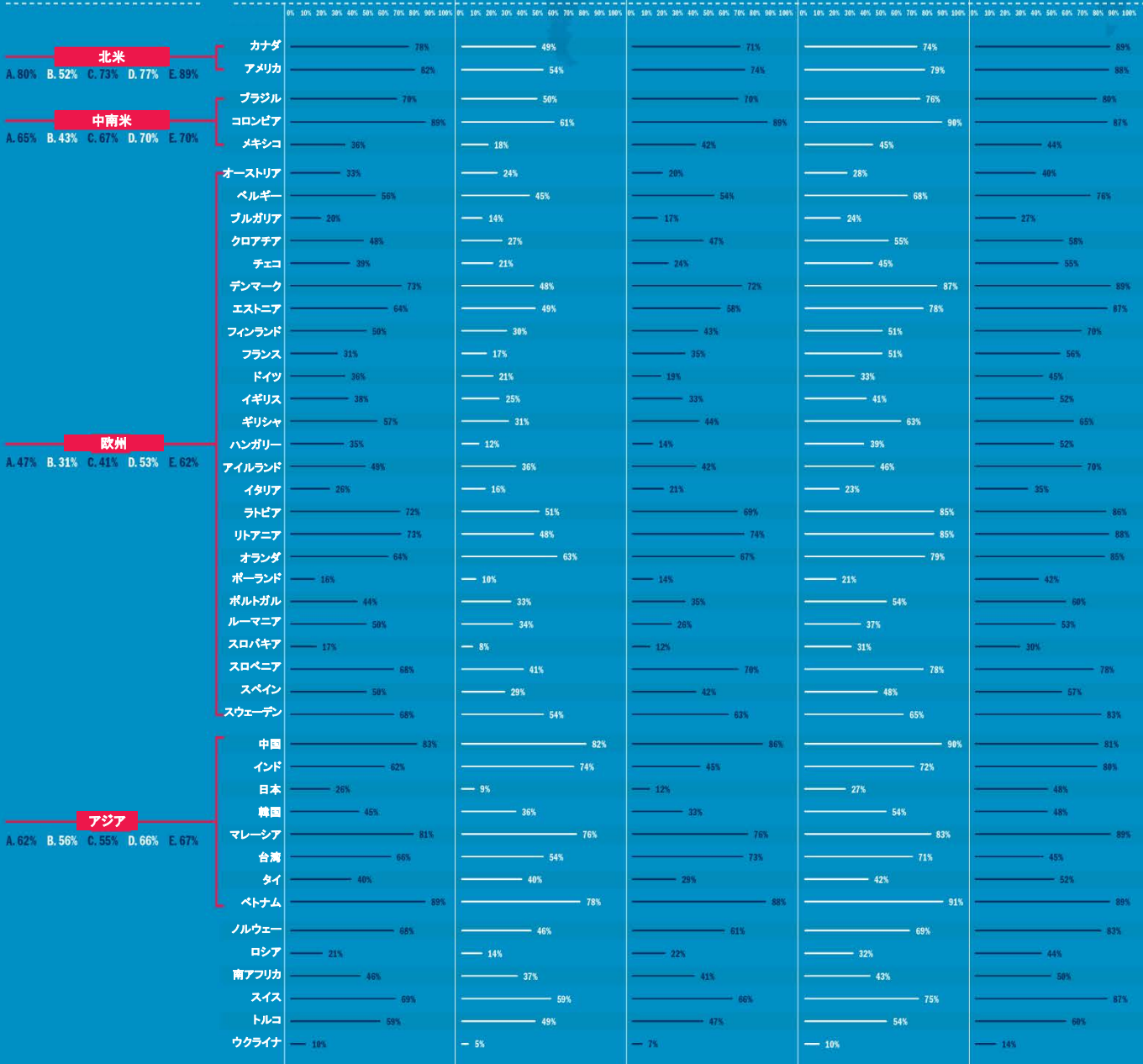
事業をスタートした時に、自分自身は以下のどれに
合致しますか？

- A. 事業のアイデアを創出できる
- B. 事業のアイデアを実現するための資金調達方法を知っている
- C. 事業失敗のリスクをいとわない
- D. 事業のアイデア実現のために自分の自由時間を犠牲にできる
- E. 家族も友人たちも支援してくれると思う



地域別平均

国別平均



重要知見：事業の開始・経営に関する能力の自己評価は、事業所有の挑戦を決める際に影響を及ぼす大きな内部要因である。回答者の多くは自分自身について、社会的に支援されている(64%)、有望な事業に全力で取り組む(57%)、アイデアを創出できる(52%)と認識している。一方、事業失敗のリスクをいとわない(47%)、事業のアイデアを実現するための資金調達能力(38%)については、低い支持率に留まる。

内部要因： 支援への需要

質問4

自分自身について考えた時、事業を開始するにあたって最も役立つことは何ですか？

支援について

A. ... 事業のアイデアを構築する

B. ... 顧客を特定し、製品とサービスのマーケティングを行う

C. ... 事業のアイデア実現のための資金調達

D. ... 適切な人材を雇う

E. ... 財務、税、規制への対応



地域別平均

北米

A. 10%
B. 21%
C. 21%
D. 22%
E. 23%

中南米

A. 16%
B. 20%
C. 26%
D. 18%
E. 15%

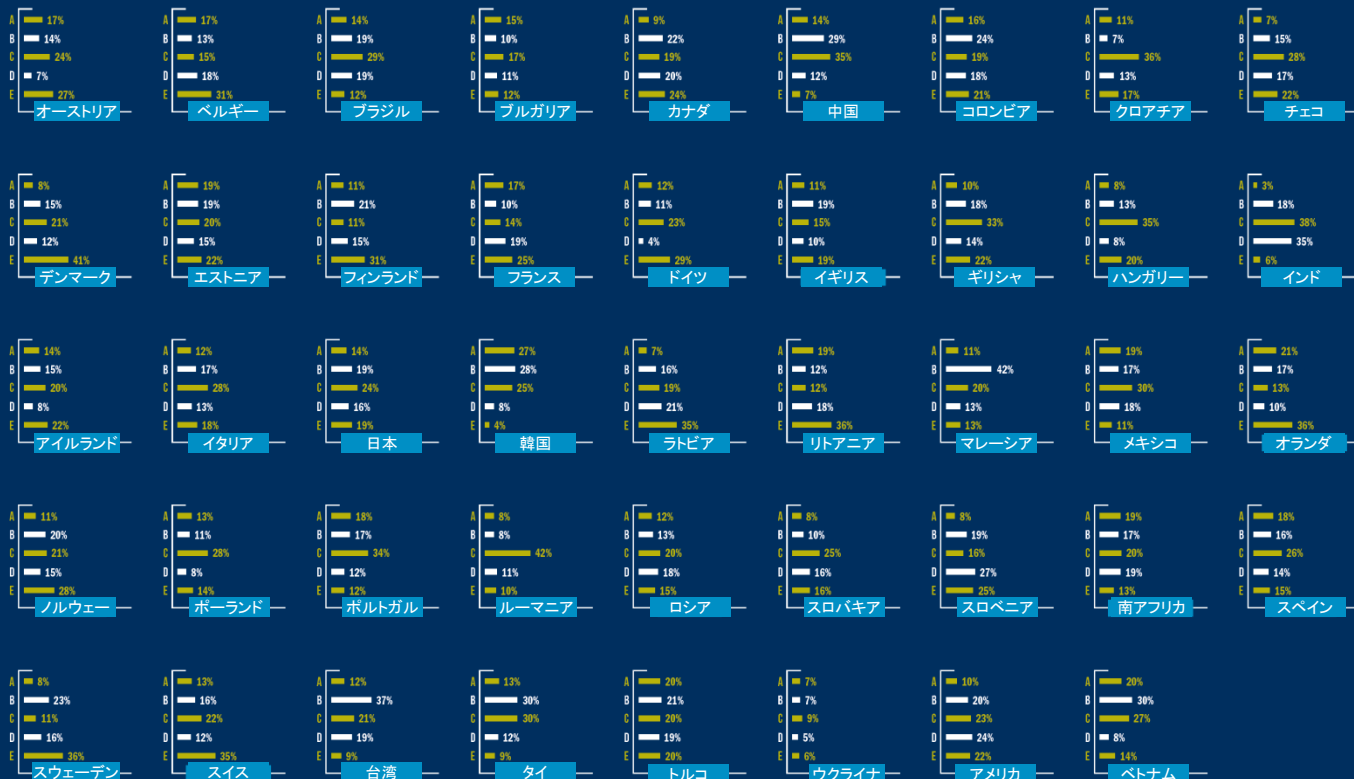
欧州

A. 13%
B. 15%
C. 23%
D. 13%
E. 24%

アジア

A. 14%
B. 29%
C. 28%
D. 15%
E. 10%

国別平均

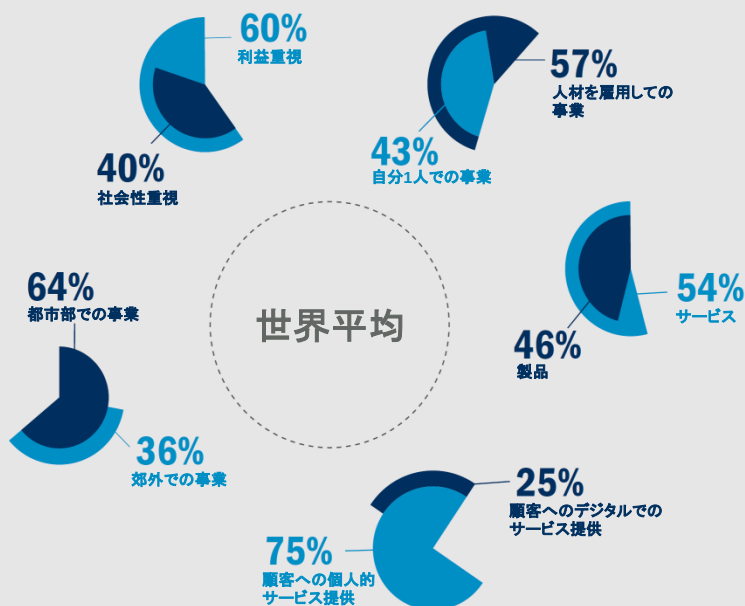


重要所見：事業支援を開始するにあたって最も必要な項目について、回答者は5つの選択肢から1つを選択した。この結果から、起業家支援について強化されるべき項目が明らかになった。世界的に見た場合の支援項目上位は、資金調達の支援(23%)、財政、税制、規制に関する支援(20%)、マーケティングおよび顧客の特定(18%)であった。

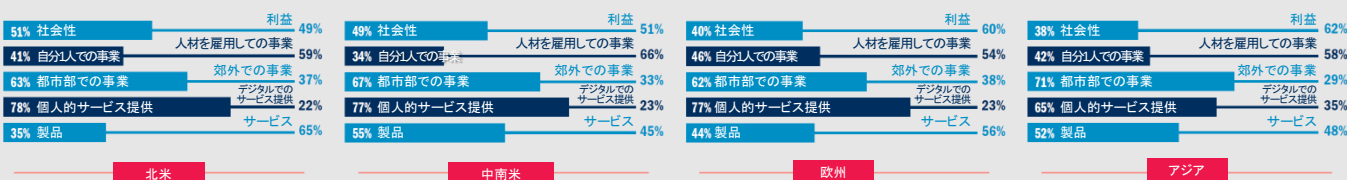
理想的な事業ビジョン

質問5

もし事業をスタートした場合、どのような事業に取り組めますか？以下で2つのうち、どちらが自分自身に合致しますか？



地域別平均



国平均



重要知見：理想的な事業に関する質問により、回答者が実際にどのような事業をしたいのかが明らかになる。回答者45つのカテゴリにおける2つの選択肢から選ぶことができる。世界中の回答者の多くは、利益重視型事業（60%）を好み、顧客へのサービス提供（54%）、個人的サービス提供（75%）に分かれる。さらには、首都圏での事業展開（64%）、スタッフの雇用（57%）と続く。しかしながら、優先傾向は国によって異なる。